

第12回議会報告会 報告書



令和8年10月

海老名市議会

【目 次】

○開催目的	P 2
○実施主体及び出席議員	P 2
○実施日時、実施場所、参加人数など	P 2
○実施項目	P 2
○実施内容	P 3
○参加者アンケートの結果	P 7
○広報委員会による検証	P 9
○総括	P 9

○ 開催目的

開かれた議会を目指し、市民の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況等について説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図るため、議会が主体となって議会報告会を開催しています。

○ 実施主体及び出席議員

実施主体：海老名市議会（海老名市議会 広報委員会）

出席議員：

永井 浩介（議長）	藤澤 菊枝（副議長）
森 英之（広報委員会委員長）	藤枝 ふみひこ（広報委員会副委員長）
三宅 紀昭（広報委員）	大塚 真樹（広報委員、文教社会分科会会長）
星 伸一（広報委員）	ありい あいこ（広報委員）
倉橋 正美（総務分科会会長）	たち 登志子（経済建設分科会会長）
松本 正幸	戸澤 幸雄
宇田川 希	田中 ひろこ
吉田 みな子	大下 久美
さの るみ	

○ 実施日時、実施場所、参加人数など

・ 対面式

日時：令和8年7月11日（土） 午前10時から正午まで

場所：海老名市役所 6階 議事堂

参加人数：36人（うち子供8人）

・ ライブ配信（第1部のみ）

日時：令和8年7月11日（土） 午前9時55分から午前10時35分まで

媒体：YouTube

同時視聴最大数：10件

・ 録画配信（第1部のみ）

日時：令和8年7月11日（土）ライブ配信終了後から

媒体：YouTube

視聴回数：235回（令和8年9月15日（火）正午時点）

○ 実施項目

1. 議長あいさつ

2. 第1部（①議会のしくみ／②予算審査について／③市議会への質問）

3. 休憩

4. 第2部（議会ツアー）

○ 実施内容

■ 第 1 部

① 議会のしくみ

本市議会の仕組みを知ってもらうことで、市民に市議会への興味をもってもらうことを目的として、資料「海老名市議会について」を用いて説明しました。

② 予算審査について

令和 8 年第 1 回定例会で行った令和 8 年度予算審査の概要について、総務、文教社会、経済建設分科会の順で各会長から報告しました。市民の生活に身近な予算（事業費名）を中心に、その事業費の概要と、各分科会で議員が確認した内容などを説明しました。

③ 市議会への質問

専用の受付フォームを通じて事前に質問を募集し、広報委員長が代表して質問に回答しました。

《質問・回答の内容》

質問 1 第三者評価と「開かれた議会」について（ご意見）

【要旨】

第三者調査を踏まえ、海老名市議会はまだ市民に開かれているとは言えず、議会改革も遅れているとの評価。官民連携のまちづくりを進める仕組みづくりを行い、第三者評価でも高評価を得られる議会を目指してほしい。（議長・副議長の尽力に期待するという現市長の初当選以前からの市民からのご意見。）

【回答】

貴重なご意見をありがとうございます。外部の調査による評価、議会として真摯に受け止めております。点数や順位そのものを目的にするのではなく、「市民に開かれ、市民とともに海老名を良くしていく議会になっているか」を基準に、会議録や中継といった情報公開の充実、今回のような報告会のあり方、議会運営の見直しなどを、一つひとつ着実に進めてまいります。これは議長・副議長をはじめ、議会全体で取り組むべき課題と考えております。

現市長の初当選以前から海老名を見守ってこられたお立場からの切実なお声として重く受け止め、今後の議会運営の指針とさせていただきます。

質問 2 フルインクルーシブ教育と多様な学びの場について（ご意見）

【要旨】

市が進めるフルインクルーシブ教育に関心がある。どの子ども学びが保障されることは大切。一方で子どもの状態は多様化し、不登校も増えており、一つの場所に皆が集まることを苦しく感じる子もいる。学習の進度もそれぞれ違う。多様な居場所で子どもの学びと存在が尊重され、海老名市の中でみんなが安心して過ごせるそうした視点

も大切ではないか。

【回答】

ありがとうございます。どの子どもも学校での学びが保障され、多様な居場所の中で、その子の存在が尊重されて安心して過ごせるという視点は、私たちも大切なものとして受け止めます。

いただいた一つの場所に限らない、多様な学びの場という視点は、今後の審議や質問の中で、行政に確認・提案していくべき論点として受け止めます。

質問3 屋外全域の喫煙禁止について（ご要望）

【要旨】

駅前中心の禁止地区が指定されているが、地区に関係なく自転車に乗りながらの喫煙やバス停での喫煙を複数回見かける。

市内全域の屋外を禁煙にできないか。喫煙者がマナーを守れないのであれば、部分的な制限ではなく全体への制限が必要ではないか。

【回答】

日々の暮らしの中で不快な思いをされていること、真摯に受け止めさせていただきます。

喫煙に関するルールは条例で定められており、その内容を変えるには最終的に議会が審議して判断することになります。市内全域での屋外禁止という形にする場合、どうやって守っていただくか、喫煙される方への配慮や喫煙所のあり方など、あわせて検討すべき点も少なくありません。

議会として、いただいたご要望はしっかり記録し、関連する条例や施策が議論される際の大切な材料とさせていただきます。

質問4 議長・副議長はどんな役割の人で、どうやって選ばれるのですか？

【回答】

議長・副議長は、22人の議員の代表役・とりまとめ役です。

議長は、本会議の進行を取り仕切り、議場の秩序を保ち、対外的に「海老名市議会」を代表します。個々の議案では基本的に中立の立場で、議会全体が公正に議論できるよう運営に責任を持ちます。副議長は、議長が不在のときに、その役割を代わりに務めます。議会という組織を円滑に動かし、市民に開かれた運営をしていく舵取り役が議長・副議長だにご理解いただければと思います。

選び方は、市長のように市民が直接選ぶのではなく、議員どうしの選挙で、議員の中から選ばれます。

質問5 市議会議員は、会議のない期間にどんな仕事をしているのですか？

【回答】

海老名市議会は年4回開催される「定例会」を軸に動いていますが、本会議で発言している姿だけが議員の仕事ではなく、一年を通して活動が続いています。定例会開

会中に良い質問・良い判断をするためにも、会議のない期間の活動が大きな割合を占めます。

あくまでのそれぞれの議員のスタイルによりますが、例としては、次のようなものがあります。

- ・地域を回り、市民の声を聞く（相談対応、現場の確認、自治会や各種団体の会合への出席）
- ・次の議会に向けた勉強・調査（資料を読み込み、他の市の事例を調べ、質問を準備する）
- ・委員会の準備や視察（他の自治体の取り組みを見に行き、海老名に活かさないか検討する）

質問 6 「一般質問」とは何ですか？どうやって質問を決め、行政の答弁にはどれくらい意味があるのですか？

【回答】

「一般質問」とは、議員が市の方針や課題について、市長や行政に公の場で質問をする場です。質問の決め方と答弁の意味は次のとおりです。

- ・質問の決め方：市民から寄せられた声、地域の困りごと、自分が調べたテーマの中から、「今、市に確認・提案すべきこと」を選びます。
- ・答弁の意味：行政の答弁に法的な強制力があるわけではありませんが、議場での公式な発言として記録に残り、後から「言った・やった」を検証できます。「前向きに検討する」と答弁されたことを、次の議会で「あれはどうなりましたか」と追いかけるこの繰り返しで、行政を動かす力になります。

一回の質問で全てが実現するわけではありませんが、答弁内容を記録に残して、継続的に確認していくことに意味があります。

質問 7 市民が議会に意見や声を届けるには、どんな方法がありますか？

【回答】

主に3つの入り口があります。

1つ目が、請願や陳情で、「こうしてほしい」という要望を正式な文書で議会に提出する制度です。請願は議員の紹介が必要で、議会で審査され、採択されれば議会の意思として行政に伝わります。

2つ目が、議会報告会です。市民の方からの質問などにお答えさせていただきます。

3つ目が、議員個人への相談です。身近な議員に直接、声を届けていただく方法です。

質問 8 「会派」とは何ですか？「無会派」と何が違い、市民にとってどんな意味がありますか？

【回答】

「会派」とは、考え方や政策の方向性が近い議員が集まって作るグループです。一人では調べきれないことを分担したり、まとまって意見を主張したりするための、いわば議会の中のチームです。一方で、「無会派」は、どの会派にも属せずに活動する議員です。

どちらが良い・悪いということではなく、活動のスタイルの違いと認識をしていただければ幸いです。

■第2部（議会ツアー）

議事堂内各室の設置及び使用目的などを知らせることにより、市民の市議会への興味や理解を深める目的で前回（第11回）から実施しています。第1部の会場である議場のほか、普段市民が入る機会が少ない他の会議室や正副議長室などの見学を2班制のツアー形式で行いました。

また、より市議会を身近に感じていただくため、今回初めての試みとして、第1委員会室で模擬質疑体験を行いました。参加者が議員席に座り、マイクを使用して議員からの質問に答える簡単なやりとりを行い、大変盛況であったと感じています。（議会ツアーは、放送設備上の都合によりYouTubeで放映しておりませんのでご了承ください。）

○参加者アンケートの結果

今後の実施方法などの参考にさせていただくため、終了後にアンケートへの回答をお願いし、参加者36名（うち子供8名）のうち、23名の方に回答をいただきました。（回答率：63%）結果は次頁のとおりです。

第12回議会報告会アンケート結果

設問1. 議会報告会の開催は何で知りましたか

選択項目	件数	割合	任意記載 ※一部を掲載
ア) ホームページ	0	0%	
イ) フェイスブック・ブログ	3	13%	・市議会 ・議員
ウ) 議会だより	12	52%	
エ) 行政施設	0	0%	
オ) その他	8	35%	・ポスター ・議員からの紹介 ・身内からの紹介 ・市役所 ・学校で配布されたポスター

設問2. 報告会の内容について 議会の仕組みについて

選択項目	件数	割合	任意記載 ※一部を掲載
ア) よかった	21	91%	・説明が理解しやすいと感じた。 ・分かりやすく、理解できた。 ・ザックリとは分かりました。 ・資料がわかりやすかった。 ・端的にまとめられており、分かりやすかったです。 ・通り一遍の説明ではなく、工夫されていたため。
イ) どちらでもない	1	4%	・もう少し踏むこんだ解説を聞きたかった。
ウ) つまらなかった	1	4%	・報告書を読むだけならこのような会は意味がない。

予算審査について

選択項目	件数	割合	任意記載 ※一部を掲載
ア) よかった	19	83%	・文教社会分科会や経済建設分科会がよく分かった。 ・身近に感じられたから。 ・町からの回答までご紹介いただけるとより理解は深まったかもしれません。 ・端的で分かりやすかった。市民に身近な分野に絞っていただいたのが良かった。
イ) どちらでもない	3	13%	・時間内でおさめる内容としては適当なのだと思います。補足としてですが全体像が、見えにくかったです。デジタルでももう少し詳しいほどほどな資料も案内してほしいです。 ・もう少し踏みこんだ解説を聞きたかった。
ウ) つまらなかった	1	4%	・報告書を読むだけならこのような会は意味がない。

市議会への質問

選択項目	件数	割合	任意記載 ※一部を掲載
ア) よかった	15	65%	・その場で丁寧に回答いただけて、どなたにも分かりやすかったと思います。 ・真摯に対応されていると思いました。
イ) どちらでもない	5	22%	・少し話においていけないところもあった。 ・「議会」への質問に対する回答は「市議会について」の資料をもっと活用できたらよかったと思う。
ウ) つまらなかった	1	4%	・報告書を読むだけならこのような会は意味がない。
無回答	2	9%	

議会ツアー

選択項目	件数	割合	任意記載 ※一部を掲載
ア) よかった	18	78%	・質問したりマイクで喋ることが楽しかった。 ・議長席でえび〜にやと写真とれた。 ・Aグループでしたが、とても楽しく分かりやすかったです。会議用のマイクを実際に使用し体験できたのが良かった。 ・普段入ったことのない部屋を見学できたため。 ・図書室は市民も使えると知りびっくり。ちなみに購入図書の選定はどうやっているのだろうか?と思いました。
イ) どちらでもない	0	0%	
ウ) つまらなかった	1	4%	
無回答	4	17%	

設問3. 今後、このような報告会が開催される際には参加したいと思いますか。

選択項目	件数	割合	任意記載 ※一部を掲載
ア) 参加したい	19	83%	
イ) 参加したくない	1	4%	・ 市政について質問がその日にできなければ意味がない。
無回答	3	13%	・ どちらでもありません。次回は分かりません。

設問4. その他（ご意見・ご感想） ※一部を抜粋して掲載

- ・ 議会のことを知れて楽しかった。意外と楽しかった。
- ・ 海老名市議会を知るとっかかりとしてとても良い機会でした。小学生の娘達と参加しましたが、2人とも楽しんだようです。議場に入れたのも貴重な経験でした。えび〜にゃに会えてうれしかったよ。議会、議員さんを身近に感じました。（皆さん親切でした。）マイクで話すのも面白かったです。こういうふうに気軽な機会が増えるとよいなと思います。
- ・ 海老名市の議員さん、とても真面目に取り組んでおられることがよく分かりました。次回も参加したいと思っています。女性の議員さんが多いですね。とてもいいことです。もっと増えるといいですね。
- ・ 住んでいる場所の議員がどんな活動しているかを市民はもっと興味を持った方がよいと思うので、こういう活動を広く知らせた方がよい。こういった日も休んでいる議員さんはどんな理由でしょうか。
- ・ 議長や副議長に直接質問できる機会は良いと思いました。今後も市民に開かれた議会を作っていっていただきたい。海老名の良い所を残しながら今後も発展させてほしい。
- ・ 勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 資料の印刷がもったいないと思いました。まとめられる所は横ではなく縦で。見る時に見づらい。とじる方向も逆になっていたので（私だけみたいでした）、枚数も減らせると思います。
- ・ 縁遠いと思っていた政治の世界が身近に感じられてよかった。たくさんの方に参加していただけるよう引き続き頑張ってください。
- ・ 今後も継続的に開催を願います。
- ・ 今回の報告会については「ていねいさ」に関心を向けていた姿勢にはとても好感がもてました。
- ・ 出席した議員さんの自己紹介が最初にあると良かったかなと思いました。次は議会傍聴に来たいと思いました。
- ・ 本会議では真剣な表情でいられる議員のみなさまが当報告会では非常にやわらかく、議会への身近さも感じられ、大変勉強にもなりました。
- ・ 議会からの報告について、議会報告に関心を持って参加しました。各分科会で主要なテーマ（市民の関心のある、または予算額が大きいテーマ）について、目標、実績、またはマイルストーン、成果と課題を聞きたかったです。今回の発表レベルは、分科会はこのをやったというレベルにとどまり残念でした。
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。

○ 広報委員会による検証

- ・ 今までにない多くの方にご参加いただき、子供や若い方も多く、大変よい報告会となった。
- ・ 議会だよりの表紙に報告会の開催について掲載するなど、周知方法が効果的だったと感じる。
- ・ 今回初めて実施した議会ツアー中の「模擬質疑応答体験」は、多くの参加者に楽しんでいただき、新たな取り組みとして良い結果となった。
- ・ 配慮が必要な参加者のための準備が十分ではなかった。様々な方に気兼ねなくご参加いただくための工夫がより必要だと感じた。
- ・ 一方的に説明をするだけでなく、参加者からその場で質問をいただき、意見を交わすなどの機会もあった方がよいと感じた。
- ・ 議会報告会は、活動報告をするだけでなく、市民との対話を通じて議会への理解を深めることで信頼関係を築く場でもある。参加者に来年も参加したいと思っていただけるような運営方法を引き続き検討していく必要がある。

以上の検証を行い、次期広報委員会に引き継ぎました。

○ 総括

第12回議会報告会は、開かれた議会を目指し、市民の皆様の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況等について説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴し、市民との対話の機会を図るという目的のもとに開催されました。前回の総括で明確な課題としていた参加者数については、対面式の参加者が前回の12人から36人へと3倍になり、子供や若い方にも多くご参加いただくことができました。一方で、オンラインでの到達範囲や報告内容の伝え方には課題が残っており、広報委員会では成果と課題の双方を率直に確認したうえで、次期広報委員会に引き継ぎました。

《参加状況と周知方法の課題》

対面式の参加者は36人（うち子供8人）で、前回の12人（うち乳幼児2人）の3倍となりました。前回は日曜日（閉庁日）の開催でしたが、今回は令和8年7月11日（土）に、海老名市役所6階の議事堂で午前10時から正午まで実施しました。終了後のアンケートには23名の方からご回答をいただきました（回答率63%）。開催を何で知ったかという設問では、「議会だよりの表紙」が12人（52%）と最も多く、次いで「その他」が8人（35%）で、ポスター、議員からの紹介、身内からの紹介、市役所、学校で配布されたポスターといった回答でした。広報委員会では、議会だよりの表紙に報告会の開催について掲載するなど、周知方法の工夫が効果的であったと感じています。

また、第1部のみを配信したYouTubeのライブ配信の同時視聴は最大10件、録画配信の視聴回数は令和8年9月15日正午時点で235回でした。いずれも前回（3件、73回）より増加しており、対面での広がりがオンラインにおいても一定の成果が得られたと捉えています。しかしながら、広範な市民の皆様への情報到達という点では、引き続き周知方法の工夫が必要であると考えています。

《実施内容と市民の評価》

1. 「議会の仕組み」

「よかった」が21人（91%）と高い評価をいただき、「説明が理解しやすい」「資料が分かりやすい」「通り一遍の説明ではなく工夫されていた」といった声が寄せられました。一方で、「もう少し踏み込んだ解説を聞きたかった」「報告書を読むだけならこのような会は意味がない」というご意見もいただいています。

2. 「予算審査について」

前回の総括で「伝え方」を課題としていた項目です。市民の生活に身近な予算を中心に各分科会長から報告したところ、「よかった」が19人（83%）となり、「端的で分かりやすい」「市民に身近な分野に絞ったのが良かった」「身近に感じられた」との評価をいただきました。ただし、「時間内に収める内容としては適当だが全体像が見えにくかった」という声のほか、自由記述でも、主要なテーマについて目標・実績・成果と課題まで聞きたかったとのご意見があり、より深い説明を求める声も残りました。伝え方の改善には一定の成果があったものの、なお途上にあると受け止めています。

3. 「市議会への質問」

専用の受付フォームで事前に募集した8問に、広報委員長が代表してお答えしました。内訳は、ご意見・ご要望が3件、議会そのものへの質問が5件でした。「よかった」は15人（65%）で、4項目の中では最も低い結果となりました。「その場で丁寧に回答いただけ、どなたにも分かりやすかった」という声の一方、「少し話についていけないところもあった」「『議会』への質問に対する回答は『市議会について』の資料をもっと活用できたらよかった」というご意見もいただきました。

4. 「議会ツアー」

「よかった」が18人（78%）でした。前回から実施している議会ツアーでは、議場のほか、普段市民が入る機会の少ない会議室や正副議長室を2班制で見学いただきました。今回初めて実施した第1委員会室での模擬質疑体験については、「質問したりマイクで喋ることが楽しかった」「会議用のマイクを実際に使用し体験できたのが良かった」といった声が寄せられ、新たな取り組みとして良い結果となったと考えています。ツアー全体についても、「議長席でえび〜にゃと写真を撮れた」「図書室は市民も使えると知りびっくり」といったご意見をいただきました。

《今後の方向性》

今後の参加意向は「参加したい」が19人（83%）でした。自由記述でも「縁遠いと思っていた政治の世界が身近に感じられてよかった」「議員がとても真面目に取り組んでいることが分かった」といった声をいただいた一方、出席議員の自己紹介を最初に行うことや、配付資料の印刷の仕方についてのご指摘もいただきました。委員会としては、今回の結果に安んじることなく、以下3つの課題を設定します。

第一に、配慮が必要な参加者のための準備が十分ではなく、様々な方に気兼ねなくご参加いただくための工夫がより必要です。

第二に、「参加したくない」と回答された方からは「市政について質問がその日にできなければ意味がない」とのご意見もいただいております。ただし行政への質問は、別の権能を持つ議会として責任を持って回答することは難しく、議会報告会の基本設計や意義は

次回に向けた課題であります。また議会としての立場を基にした上で各議員の発言を管理することは事実上困難であるため、引き続き懸案事項として本課題と併せて設定します。

第三に、議会報告会は活動報告をするだけではなく、議会への理解を深めることで市民との信頼関係を築く場でもあり、来年も参加したいと思っていただけるような運営方法を引き続き検討していく必要があります。

以上の検証を次期広報委員会に引き継ぎ、より多くの市民の皆様に議会を知っていただける報告会となるよう取り組んでまいります。